

## 令和7年度 第2回 志布志市まち・ひと・しごと創生推進協議会 意見に対する回答

◆協議

- (1) 志布志市第3期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン策定にかかる市民満足度アンケート結果について
- (2) 志布志市第3期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン策定にかかる経過報告について

資料1
資料2

No	資料	意見内容
1	資料名 (2)  (178) ページ	<p>出産は男女がいて成り立つものであり、父親もいるわけであり「母親世代」という言葉は、（出産適齢期の女性が少ないという実態も含んでいると思われるが）女性だけに注目している印象で違和感がある。2～3行目の「母親世代」の減少は、女性のみが減少していると受け取られるのではないか。</p> <p>また、「母親世代」という言葉は人によって年齢のイメージが異なるのではないか。私は、子育てを行う「20代～50代の女性」をイメージする。人によっては自分の母親世代を想起し、50代の人の考える「母親世代」は70～80代、20代の考える「母親世代」は40～50代であると思う人もいるのではないか。</p> <p>そうすると、最終行にある「母親世代の確保」の推進は人により「20代～80代の女性」となってしまう、市が想定している出産する「母親世代」＝「20代～30代」か？とずれが生じる可能性がある。</p> <p>こども家庭庁の「こども未来戦略」で使われている「若者・子育て世代」ではどうか。</p>

回答
<p>こちらの表現については、国が発出しております「地方人口ビジョンの策定のための手引き（令和元年6月版）」においても用いられている表現です。手引き内で示された分析例として、自然減について「母親世代人口の減少」という表現が用いられており、他自治体でも同様の表現が用いられているところであります。</p> <p>ご意見いただきました178ページは、自然増減に触れた内容であり、生物学的な根本的視点として女性の若年人口の減少にフォーカスしたものとなっております。そのため、自然減に係る部分以外では、「母親世代」という表現は用いていないところです。</p> <p>「母親世代」については、17ページに記載があるように、子どもを生み育てる世代「母親世代」として表現しておりますが、ご意見のありました178ページについては、「母親世代」のみの表現となっておりますので、子どもを生み育てる「母親世代」として、分かりやすい表現に改めさせていただきます。</p>